

建設部会長報告

第1回建設部会を、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、5月15日にホール80で開催し、部会員23名が出席しました。

今回は、秋田県建設部建設技監の小野久喜氏と秋田市建設部次長の檜岡善治氏をゲストに招き、「秋田県・秋田市の建設に係る重点施策」をテーマに懇談しました。



【懇談】

秋田県建設部 建設技監 小野 久喜 氏

- ・令和2年度公共工事（建設部）予算は、約726億円であり、平成24年度低値の153%となっている。また、平成30年度から防災・減災・国土強靱のための緊急対策分として、3ヵ年で約160億円が上乘せされており、防災力を強化し、県民の生活環境の改善と安全・安心の確保を図っている。
- ・建設人材確保・育成については、「秋田県建設産業担い手確保育成センター」が中心となって、若者の離職防止や県外流出防止、女性が活躍できる現場環境の整備やネットワーク構築、ICT活用による生産性向上に向けた取組を推進している。
- ・洋上風力発電などエネルギー供給拠点基地形成などの港湾機能強化、道路ネットワークの整備、クルーズ船の誘致と受入環境整備により、人やものの交流拡大を図る。
- ・令和元年度の入札不調率は6.8%で、入札参加資格の地域要件拡大等の取組により、昨年度12.4%から改善傾向にあり、引き続き、業界団体との情報交換を密にし、円滑な施工確保に向けた対策を講じていく。

秋田市建設部 次長 檜岡 善治 氏

- ・喫緊の最重要課題である人口減少対策に取り組むとともに、「新・県都『あきた』成長プラン（第13次秋田市総合計画）」に掲げた施策・事業を着実に推進するため、選択と集中による経営資源を最適配分した。
- ・建設部関係予算は、河川整備工事の増額等により、64.4億円で対前年度比118.8%となっている。特に、本市が管理する普通河川古川流域の浸水被害の軽減に向けて、国・県・市の3者が連携し、総合的な治水対策を実施する。
- ・円滑な交通確保等を図るため、千秋久保田町線や外旭川上新城線等の道路整備・改良を行うほか、新たに、道路照明灯のLED化を推進することとしている。
- ・建設産業では週休二日の取得が進んでおらず、若者労働者の担い手確保・育成を進める上で課題になっているため、令和2年度からは、週休二日制導入の課題を抽出することを目的に「週休二日制モデル工事」を実施する。

【協議・情報提供】

懇談終了後、2020年度建設部会活動計画について協議し、全員異議なく了承されました。また、東日本建設業保証の清水支店長から「令和元年度 前払金保証から見た公共工事の動向」について情報提供がありました。

以上が建設部会からの報告です。